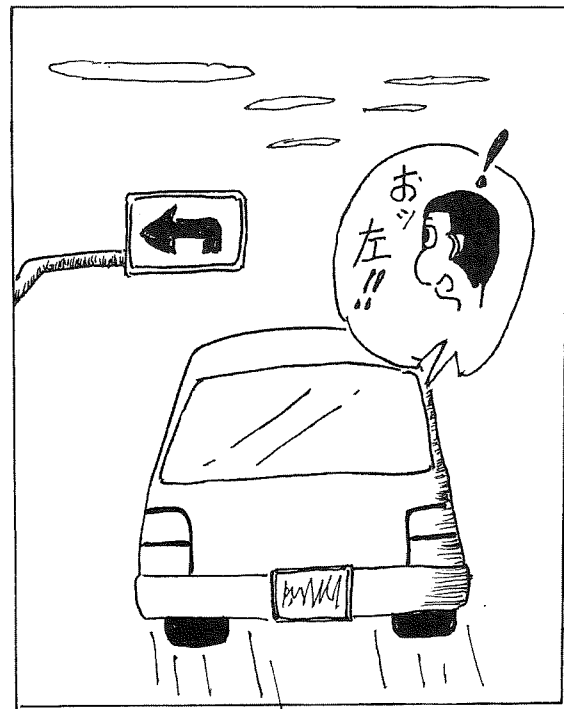


急がば回れ

手抜き近道は事故のもと



「急がば回れ」とは、急ぐときには危険な近道よりも、少しぐらゐ遠回りでも、安全な道を通った方が、結果的には早く目的地に着く場合が多いというものです。

多少時間や手間がかかっても、安全で確実な手段をとった方が良い、という意味です。

「近道は遠道、遠道は近道」、「走ればつまずく」、「急^せいては事を仕損じる」などともいいます。

たしかに、職場の事故や災害などを振り返ってみると、急いでいたためにチェックや確認をしなかったとか、安全装置や保護具を使わなかった、規定の通路を通らなかった、などの事例が多いようです。通勤などで急いでいた時にも同じようなことを体験したことのある人がいるのではないのでしょうか。

もちろん、私たちの作業の中では、急いで処置しなければならぬこともあります。そのためには近道も必要でしょう。しかしその場合には、この近道にはどんな危険があるか、その対策はどうすれば良いかなどの事前の検討と対策が必要です。

やはり「急がば回れ」なのです。